

「知事は、太良の住民投票を尊重せよ」

古川知事に、太良町民の声で迫る—対話集会・知事とかたろうかい

良夫 25日に、合併問題の対話集会があったね。
太郎 28日には、「知事とかたろうかい」というのがあった。
いずれも古川知事が参加していた。古川知事や鹿島の桑原市長にたいして、太良の町民は堂々と意見を述べていたよ。

違いがめだった桑原市長と百武町長の考え

良夫 対話集会では、鹿島市の桑原市長と太良町の百武町長町が発言したけど、合併にたいする考え方の違いが目立ったね。桑原市長は、「なんとしても合併したい」という態度だった。これに対して、百武町長は、これまでと同じように「合併するかしないかは、住民投票で決める」とはっきり言っていた。

太郎 会場の一般参加者からの発言でもそうだったね。太良の人で発言したのは5人だったが、そのうちの4人は、鹿島との合併に反対の意見だった。

良夫 「鹿島と合併したら、水道料や国民健康保険税が上がるから反対」と発言があった。「浜や七浦は、鹿島と合併してさびれてしまった。太良も鹿島と合併すれば、さびれてしまうのではないかと発言した女性もいたね。

太郎 いずれも、太良町民の気持ちを表しているね。鹿島の人もたくさん参加していたけど、百武町長や町民の声を直接聞いて、鹿島との合併について太良町民がどんな気持ちでいるか、よくわかったのではないかと。

良夫 「知事とかたろうかい」でも、知事に太良町民の意見を堂々と言っていたね。

太郎 今、それが大事なんだ。私も、知事に質問したが、最後の部分を紹介しよう。

**合併問題の話
出前しています**
これまでに、8ヶ所から出前の注文があり、お届けしました。合併問題についての町民のみなさんの声をきくことができました。どんどん、声をかけてください。お伺いします。

古川知事に対する意見と質問 北町 川上賢二

太良町では、住民投票を前にして、合併するか、太良町を残すかと議論が活発に行われています。区や老人会の会合、三夜待、いろいろなサークルや集まりのなかで合併問題が議論されています。これは、住民自治の実践そのものです。

わたしは、地方自治、住民自治を育てることに知事の役割があると思います。そういう点でみて、大変残念に思うのは、合併しない市町村にたいする最近の知事の発言です。たとえば、西有田町での「合併しなかった市町村は、そこで起こる将来の結果について、自らの選択について責任をとっていただく必要があると考えています」という発言をみて、ある町民は「これは、脅しじゃないか」と言っています。

これらの発言の中には、県内でも一年前に46市町村が参加していた合併協議が、現在では27市町村に後退してしまったことにたいする知事の焦りが見えます。また、今回の合併が、上からの押しつけ合併であることを自ら示しているのではないのでしょうか。

国は、思い通りに合併が進まないの、権力的なやり方でごり押ししています。今、古川知事がやるべきことは、国のお先棒をかついで市町村や住民にムチをふるうことなく、国に対して「無茶なことはやめろ」と迫ることではないのでしょうか。

太良町民は、住民投票で結論を出します。住民投票の結果がどうであれ、知事は当然これを尊重すべきであるとおもいますが、どうですか。

また、自らの意志で合併するか・しないかを決めようとする者に、脅すような言葉は投げつけるべきではないと思いますが、どうですか。

合併反対・太良町を残そう

No.17 2004.4.1

発行 合併反対・太良町を残す町民協議会

連絡先 北町 川上賢二 Tel 67-9072

ホームページ <http://www2.Saganet.ne.jp/ken-1941>

太良の町づくりと合併問題を考えよう

講演と対話の集い

とき 4月11日(日)午後1時半より

ところ 自然休養村管理センター

講師 石川隆文さん(前・福岡県大木町町長)

入場無料です。お気軽においでください。

石川隆文さんからのお手紙

講師の石川さんからお手紙がありました。一部を紹介します

今、全国各地で自主合併とは名ばかりで、国の合併強要、アメとムチの政策と県の強力な推進によって、理念のない市町村合併が進められています。一方では、小さくとも輝く自治体を、合併しないで生き残る方策を真剣に考え、村をあげて取り組んでいる町村もあります。

太良町でも最終局面を迎えようとしているようですが、日頃の積極的なご活動にたいして敬意を表しますとともに、あなた方が望んでおられるように、鹿島市との合併を拒否し、太良町として残り、小さくとも住民が誇りを持てるようなまちづくりができるようにあなた方の取り組みの成功を祈ります。

私もそのためのお手伝いできればと考えています。

主催 合併反対・太良町を残す町民協議会

みなさんのカンパでピラ発行を続けています。カンパにぜひご協力ください

石川さんはこんな話をします

- 1 急速に進む市町村合併
 - ・ 市町村合併の歴史
 - ・ 平成の大合併の特徴
- 2 高度経済成長の中でのまちづくり
 - ・ 国の工業の発展を土台とした政策による経済成長は、地方自治体に大きな変貌をもたらした。
 - ・ 国の補助金政策によって、地方の自治は縮小され、中央集権化されていった。
- 3 これからの地方自治 - 住民と行政の協働のまちづくり
 - ・ 補助金行政ではすべては解決しない
 - ・ 住民と行政が役割分担、協力、協働を進めていくことが、これからのまちづくりの本流。
- 4 住民が誇りを持てるまちづくり
 - ・ 人を引きつけるまち、個性あるまちづくりとは
 - ・ 本当に住民が誇りを持てるまちづくりとは
- 5 市町村合併によってすべてが解決できるのか
 - ・ 住民の顔が見える、住民の視点に立った地方自治
 - ・ 大きくなったからといってすべては解決しない
 - ・ 全体の奉仕者 - - - 自治体職員の意識改革
- 6 住民自治こそが地方自治の原点
 - - - 自立した住民自治組織を育てよう